

2022年度 第2回行政改革推進委員会 会議録（要旨）

【日 時】 2022年 7 月19日（火）

【場 所】 消防本部 3 階 大会議室

【出席者】 別紙参照

【次 第】

1 開会

2 総務部長あいさつ

3 議事

（1）まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

- ・重点戦略①「嫁ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」
- ・重点戦略②「須坂市への新しい人の流れをつくる」
- ・重点戦略③「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- ・重点戦略④「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

（2）地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について

- ・「まるごと博物館構想」を核とした「人」・「地域資源」で紡ぎだすまちの元気創出事業
- ・子育て就労総合支援拠点整備事業
- ・信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点&農家チャレンジショップ整備事業
- ・「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業

4 その他

5 閉会

【議 事】

（1）まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

概要説明：北堀政策推進課長

- ・重点戦略①「嫁ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」

説明：新井産業振興部長

- ・重点戦略②「須坂市への新しい人の流れをつくる」

説明：中島総務部長、新井産業振興部長

- ・重点戦略③「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

説明：清水教育次長、滝澤社会共創部長、清水教育次長、中島総務部長

・重点戦略④「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

説明：滝澤まちづくり推進部長、浅野健康福祉部長、滝澤社会共創部長、松澤消防長、
田中市民環境部長、滝澤まちづくり推進部長

【質疑応答】

<A委員>

子供達がiPad等の情報端末で便利に勉強する事はいいことだが、町の中の議論で、子供たちは実は何をやっているのか、大人にはよくわからない部分がある、という心配の声があった。また、少し前にインターネット通じて、あるいはSNSを通じてのいじめ等が話題になっていたが、問題点が指摘されていないか、対策やICTリテラシー的な教育等が行われているのか。

<清水教育次長>

1人1台端末ということで、急速に端末が子供たちに行き渡った。学校の方でも市の各学校全体の組織として活用推進委員会を作り、先進事例等をよく見ながら、各学校に活用方法や使い方などの情報が行きわたるように、ニュースなどを作って共有している。端末は家に持ち帰ることもできるが、教育上不適切なサイト等には繋がらないような仕組みになっている。中学校では4校の生徒会が合同で、子供達自らがSNSルールを考え、パンフレットを作成し、配布するといった取り組みも行っている。

<A委員>

だいぶ考えてやっていただいているようだ。期待したい。

<B委員>

「須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証についての4ページ6番の①「嫁ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」、②「須坂市への新しい人の流れをつくる」は素晴らしい達成状況だと思う。③「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、④「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」に関しては達成状況が5割を割っているが、良い意味で目を疑った。この5ヵ年計画を立てる段階でコロナの状況を見込んでない状況でこれだけの数字が達成できたことは素晴らしい事だと思う。③番の子育て、④番の人が集うの関係で、先週、駅前シルキー1階の子育て支援総合センターを見学させてもらった。素晴らしい施設だ。市民の方の生涯学習での成果発表や、歴史的なお宝等の展示の場として、地域の公民館等だけでなく、シルキー1Fの展示スペースを活用してはどうか。コロナ禍の今、集中せず分散して展示でき良い施策になるのではないかと思います。

また、須坂の魅力を発見するバスの運行も、大変有効で大勢の方が乗られたと聞いている。③④の施策も効果を生んでいると思う。

(2) 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について

- ・「まるごと博物館構想」を核とした「人」・「地域資源」で紡ぎだすまちの元気創出事業

説明：滝澤社会共創部長

- ・子育て・就労総合支援拠点整備事業

説明：清水教育次長

- ・信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点&農家チャレンジショップ整備事業

説明：新井産業振興部長

- ・「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業

説明：北堀政策推進課長

【質疑応答】

<C委員>

須坂市に新しい人の流れをつくることを考えた際、果物をアピールするのは素晴らしいと認識しているが、住んでいるのはサラリーマンが多い。その人達に向けてのサービスが全然無いように感じる。駅前には塾など教育に対しての需要が多い。そこにもう少しお金をかけ、安価に教育が受けられるサービスがあってもいいのではないかな。また勉強を教えたい人と勉強したい人を結びつけることもしてもらいたい。特に小・中学校生を対象にした子供を呼びこむといった施策は長野市、小布施町、中野市と比較して何か特色はあるのか。

<清水教育次長>

各小中学校の地域の特色を活かした、特色ある教育推進事業をやっている。地域の特技を持った方を講師として呼ぶ、地域の歴史を学び、さらに探求していく等、須坂を好きになってもらう教育に取り組んでいる。

<B委員>

重複するが、シルキー1F 展示スペースを有効に使わせてもらえれば、市民としては有難い。コロナ対策で一番有効な利用方法ではないかと思う。

<A委員>

笠鉾会館は市の直営になったということで、システム全体もバージョンアップさせる計画なのか。

<滝澤社会共創部長>

まるごと博物館構想の中で、笠鉾会館の3面スクリーン（現在故障している）を1面にし、須坂の観光地やお祭りなどPRになる映像流す予定で、今年度中には完成予定。

<D委員>

まるごと博物館構想で、デジタルを活用した看板整備を行ったとあるが、駅前の看板の時間が狂っていて、バスが目の前にいるのに発車したという表示が出ていた。確認して直して頂きたい。

<E委員>

須坂市の人口の減少の取組について、他地域から須坂市に来てもらうのか、須坂市にすでに住んでいる若者を流出させないのか、ターゲットがはっきりしない。どちらの施策なのか。

<中島総務部長>

10代後半から20代前半の若者の人口減少がある。勉強や仕事の原因だと思う。仕事に関しては働く場所を確保する必要がある、インター周辺の開発を通じて働く場所を確保していく。

<E委員>

働く場所は須坂にはあると思うが、収入が確保できて安心して働けるかどうか、ある程度収入があり子供を育てていかれるか、そこに繋げていかれるのか。そこが重要だと思う。

<中島総務部長>

東京方面で勉強した方が、その力を地元で活かせる場所があるかというのは、マッチングが難しいと思うが、全てが出来るわけではないが、例えば、東京の本社機能を地方に呼び込もうという動きのある中で、解消出来ればと思う。

<E委員>

長野の若者は東京に出たがる傾向が強いと思うが、東京に行って疲れて帰ってくる若者もいる中で、住みやすい長野をPRしてIターンを増やすような事も考えてほしい。

<中島総務部長>

子育て環境等も含めて、トータルでPRできればと思う。

<F委員長>

小学校の就学人数が減っている。南箕輪など増えている所もある。井上地区に開発案件がある。理屈的には就労人口が増えるはずだが、大手不動産デベロッパーによると、アパートを建てたくても建てる場所がない等の問題がある。農業関連の問題もあるだろうが、広域で人が増える要素があるのに縦割りの規制が理由で、住宅等が建てられず、人口が増えないのはもったいないので、是非横との連携を取りながら人が集まる仕組みを作り、全般的にいい政策になるようお願いしたい。

<G委員>

須坂市への新しい人の流れをつくるに関して、地元就職、特にプロパーの採用が重要。高校生の新規採用の定着率は良いが、中途採用の場合は企業間の給与、賞与の比較があり定着しない。市で行っている高校生の地元企業の見学会をさらに強化してもらい、地元で安心して生活できるような状況を作ってほしい。インターチェンジ周辺地区開発での企業としては、㈱鈴木さんとオリオン機械㈱さんと元々須坂にある企業なので増員計画による雇用創出になると思う。当社では20年前に須坂市内に工場を移転した際には須坂市民の社員は6人だったが、ずっと採用を繰り返して現在は70人と増えてきた。70人須坂の住人を採用したのではなく、長野市、中野市、小布施町の社員が結婚して通勤を考え須坂市内に引っ越した社員を含めこの数字となっている。地元での採用を行政としてもバックアップしていただきたい。イオンモール松本では、オープン前の人材確保のため求人情報でパートさんの賃金が高くなったと聞いている。パートとしては製造業でもサービス業でも賃金の高い方に流れていくと思うが、製造業にとっては、時給100円は社員に対しての影響力も大きくなってくるので、慎重に対応していかなければいけない時代がくると思っている。これも含め地元企業の応援と共に見守って頂きたい。

<新井産業振興部長>

雇用の関係ですが、市内高等学校2年生を対象に市内の製造業や施設等の職場見学を毎年実施してきているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、去年はオンラインでの職場見学となった。学生達に地元には高い技術力を持った素晴らしい企業がたくさんある事を知ってもらい、東京方面等に進学しても、地元で就職してもらう事が一番必要だと考えている。須坂市を含めた北信圏域には優良企業がたくさんあることを、引き続きPRしていきたい。イオンモール松本のパートさんの賃金の件は承知している。まだ具体的で動きはないが、イオンモールに相談などしてまいりたいと考えている。